



独立行政法人国立病院機構

北海道医療センター附属 札幌看護学校

National Hospital Organization Hokkaido Medical Center
Sapporo Nursing School

看護師への夢をかなえる



キャンパス周辺MAP



地下鉄駅／JR 駅からのアクセス



地下鉄東西線
西28丁目駅

JRバス「循環西21」「西21」
乗車



地下鉄東西線
宮の沢駅

JRバス「西21」
乗車



地下鉄東西線／JR
琴似駅

JRバス「琴43」
乗車

「北海道医療センター前停」下車



タクシーを
利用する場合

地下鉄 琴似駅から
約1,000円
JR 琴似駅から
約1,200円



独立行政法人国立病院機構

北海道医療センター附属 札幌看護学校

〒063 - 0004 札幌市西区山の手4条6丁目2番22号

TEL 011-611-8170

FAX 011-611-8369

<https://satsukan.ac.jp>

札幌看護学校

検索



未来のわたしは Professionalな看護師

専門的な技術や科学的思考に基づいた看護実践力と
保健・医療・福祉全般にわたる広い視野を持った
看護実践者の育成を目指しています



健康で優秀な活力のある若者を待っています

学校長 菊地 誠志

本校は札幌市内の国立病院附属の看護学校3校が統合し、2003年4月に開校した大型校です。最新の学習設備が整った環境で240人の学生が学んでいます。これからの時代の医療、看護を担う人々には保健・医療・福祉領域の知識・技術だけではなく、多様な価値観に対応できる豊かな人間性を持った人材が求められています。日本の医療は現在、医療費の増大や少子高齢化、医療・介護労働力の不足といった問題を抱え、質の高い医療サービスの提供を維持することが困難な状況です。そうした中、どう調整し、どう取り組むのかが、医療の専門職に求められている重要な課題になっています。

本校ではどんな時代の困難にも立ち向かえる看護実践者を育成するために、健康で優秀な活力のある若者を募集いたします。

本校のロゴマークに込められたメッセージ



これからの時代の医療を
笑顔で力強く支える
看護実践者を育成します

未来に羽ばたくエンジェル
●紺色：力強さ
●金色：学生
●水色：爽やかな笑顔
○白色：白衣
を表しています



教育目的

看護師として必要な知識および技術を教授し、独立行政法人国立病院機構および社会に貢献し得る有能な人材を育成することを目的とする。



教育理念

看護は生命の尊厳と人間の尊重を基盤としており、看護を必要とする人々と看護者との関係の上に成り立っている。また、看護とは、あらゆる健康レベルに対応し、その人らしく生きられるよう生活過程を整え、健康問題を解決することである。

この考えに基づき、科学的思考に基づいた看護実践力と保健・医療・福祉全般にわたる広い視野を持ち、社会の変化に対応し、国の政策医療を担う看護実践者を育成することが本校の目指すところである。

さらに豊かな人間性と探求心を持って自己啓発していく能力や責任感、倫理観が確立できるよう支援する。



教育目標

1. 人間を身体的・精神的・社会的に統一された存在として理解し、尊重する姿勢を身につける。
2. 対象の健康状態に応じた看護を科学的に実践する能力を身につける。
3. 人間の多様な価値観を理解し、思いやりのある心豊かな人間性を養う。
4. 専門職として自己啓発していく能力を養い、生涯にわたり看護を探究する姿勢を身につける。
5. 社会人としての一般教養を身につけ、対人関係を発展させる能力を養う。
6. 保健・医療・福祉を総合的に理解し、看護者としての役割を認識すると共にそれを果たす基礎的能力を身につける。





看護実践に必要な基礎的知識や技術を修得できる、3年間の学習カリキュラムを準備しています。広い視野を持って主体的に学ぶ姿勢を養い、看護師国家試験の高い合格率を維持しています。



カリキュラム 99単位・3,030時間

1 年次 基礎を身に付けよう！

基礎分野

情報科学、生活科学、国語表現法、心理学、人間関係論、哲学（選択）、倫理学（選択）、英語Ⅰ・Ⅱ、保健体育

専門基礎分野

解剖生理学総論、解剖生理学Ⅰ～Ⅲ、生化学、栄養学、人間工学、病理学、病態治療論Ⅰ～Ⅳ、微生物学、薬理学、保健医療論

専門分野Ⅰ

看護学概論Ⅰ・Ⅱ、基礎看護方法論Ⅰ～Ⅶ

基礎看護学実習Ⅰ

専門分野Ⅱ

成人看護概論、老年看護概論、小児看護概論Ⅰ、母性看護概論、精神看護概論Ⅰ

統合分野

在宅看護概論

2 年次 専門的な知識・技術を身に付けよう！

基礎分野

教育学、英語Ⅲ、社会学（選択）、行動科学（選択）

専門基礎分野

公衆衛生論、社会福祉、生命倫理

専門分野Ⅰ

基礎看護方法論Ⅷ・Ⅸ

基礎看護学実習Ⅱ

専門分野Ⅱ

成人看護方法論Ⅰ～Ⅴ、老年看護方法論Ⅰ～Ⅲ、小児看護概論Ⅱ、小児看護方法論Ⅰ・Ⅱ、母性看護方法論Ⅰ～Ⅲ、精神看護概論Ⅱ、精神看護方法論Ⅰ・Ⅲ

成人看護学実習Ⅱ

老年看護学実習Ⅰ

統合分野

在宅看護方法論Ⅰ～Ⅲ、医療安全、災害看護

3 年次 実践力を身に付けよう！

専門基礎分野

関係法規

専門分野Ⅰ

看護研究

専門分野Ⅱ

成人看護学実習Ⅰ

成人看護学実習Ⅲ

老年看護学実習Ⅱ

小児看護学実習

母性看護学実習

精神看護学実習

統合分野

看護管理、統合看護技術

在宅看護論実習

統合実習

は「臨地実習」です

取得できる資格

- 看護師の国家試験受験資格
- 保健師・助産師学校の受験資格
- 看護教諭課程の受験資格
- 看護大学の編入試験の受験資格
- 専門士（医療専門課程）の称号

卒業後の主な進路

- 北海道内外の国立病院機構病院に就職
- 札幌市内・北海道内の官公病院、専門病院に就職
- 保健師・助産師学校への進学、大学の看護学部への編入

同じ夢を持つ仲間と一緒に頑張る3年間がわたしの財産になる

高度医療を行っている病院での臨地実習

臨地実習施設は北海道で高度医療に取り組んでいる「北海道医療センター」や「北海道がんセンター」などです。患者さんと関わり、臨床実践能力やコミュニケーション力を高めることができます。



主な 臨地実習 施設

独立行政法人 国立病院機構
北海道医療センター 北海道がんセンター



本校から入職した多くの先輩看護師が活躍しています

看護技術以外の大切な能力を培う



コミュニケーション力

他者の気持ちを受け取り、理解し尊重して、向き合うスキルを磨くことが、患者さんとの信頼関係を築きます



学び続ける力

学びを計画・調整する中で、患者さんの多様なニーズや個性に対応できる論理的思考を身に付けます



社会力・生活力

社会や文化に関心を持ち、安定した生活を営む能力が、患者さんの健康と生活を支援する看護につながります



目標に向かう力

目標を持って自己能力を高め、仲間と共に連携・協働して学び合うことが、チーム医療に生かれます

ここでなら、わたしの夢を きっと実現できる！



より実践的な技術を身に付けるための実習室や在宅看護実習室、自らの学びを深めるための図書室や情報処理室、仲間と交流するための食堂やラウンジ。「看護師になりたい」という意欲に応える設備が充実しています。



合同視聴覚室



展示室

FLOOR INFORMATION

- 3F 教室、食堂・調理実習室、研究室
- 2F 教室、図書室、茶室、情報処理室
体育館、ゼミ室、展示室
- 1F ホール、教員室、実習室
合同視聴覚室



図書室



教室



食堂・調理実習室



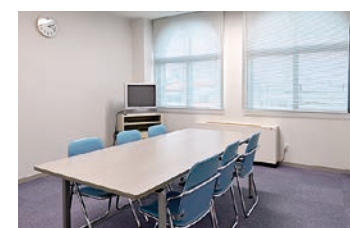
情報処理室



実習室

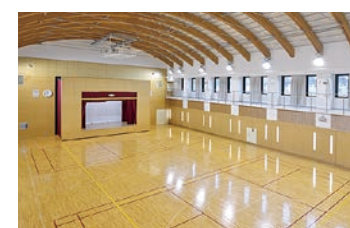


ラウンジ



ゼミ室

看護を学ぶ
理想的な環境が整っています



体育館



在宅看護実習室



ホール



茶室

主な行事



わたしたちの学校は ココが魅力

看護師として経験を積んだ方々が教員を務めているので、実践に基づいた講義を受けることができます。スポーツ交流会や体育大会、学校祭などの楽しい行事もあります。(学生Aさん)



校舎・設備がとてもきれいで充実しています。看護師になるための環境が十分に整えられています。(学生Bさん)



笑顔が溢れる学校です。グループワークが多いこと、演習が楽しいこと、校舎がきれいなことなど、魅力がいっぱいです。医療現場の様子が分かる講義を受けることができます。(学生Cさん)



本校の沿革

- 1979年 (昭和54年) 12月 国立療養所西札幌病院附属看護学校3年課程に学則変更(定員50人 総定員150人)
- 1980年 (昭和55年) 4月 第1期生入学(入学生39人)
- 2003年 (平成15年) 3月 第21期生卒業(卒業生938人)
- 4月 国立札幌病院附属看護学校、国立療養所札幌南病院附属看護学校と統合し、国立療養所西札幌病院附属札幌看護学校として開校(定員80人 総定員240人)
- 2004年 (平成16年) 4月 独立行政法人国立病院機構西札幌病院附属札幌看護学校に名称変更
- 2010年 (平成22年) 3月 独立行政法人国立病院機構北海道医療センター附属札幌看護学校に名称変更